

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度（第43期）



対象期間:2023年1月1日～2023年12月31日

2024年3月5日 発行

ガーディアンジャパン株式会社

INDEX
(目次)

P1	目次
P2	組織の概要と対象範囲
P3	実施体制と役割・責任・権限
P4	経営理念、環境経営方針
P5	環境経営目標
P6	環境経営計画
P7	環境経営目標の実績
P8	環境目標及び取り組みの結果
P9	環境目標及び取り組みの結果-2
P10	取り組みの結果(部署別)
P11	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟の有無
P12	代表者による全体評価と見直し・指示

1. 組織の概要

- 1-1. 事業所名 **ガーディアンジャパン株式会社**
URL : gardienjp.com
- 1-2. 代表者氏名 小松 正幸
- 1-3. 認証適用拠点 **【本社、東京サービスセンター】**
〒177-0033東京都練馬区高野台2-4-3
TEL:03-3904-6282 FAX:03-3904-6297
【技術センター】
〒177-0033東京都練馬区高野台2-27-7-101
TEL:03-3904-6230 FAX:03-3904-6249
【岩手サービスセンター】
〒029-3403岩手県一関市藤沢町砂子田字高田109
TEL:0191-61-1677 FAX:0191-63-5531

下記拠点は事業所が閉鎖になり、業務は東京サービスセンターへ移管（2023年8月）
【新潟サービスセンター】 新潟県新発田市

- 1-4. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）
・最高責任者 代表取締役社長 小松 正幸
・環境管理責任者 品質管理室： 清水 忠夫
連絡先：TEL:03-3904-6230 FAX:03-3904-6249

1-5. 法人設立年月日 1981(昭和56)年 11月 27日

1-6. 事業年度 1月1日 ~ 12月31日

1-7. 資本金 7,400万円

1-8. 事業規模

年間売上高	2021年度	780百万円
	2022年度	772百万円
	2023年度	611百万円
従業員数	47名（2024年1月5日現在） （役員・契約・パート・派遣を含む）	
敷地面積	本社・東京サービスセンター	248.50㎡
	技術センター	150㎡
	岩手サービスセンター	125.07㎡
	全体	523.57㎡

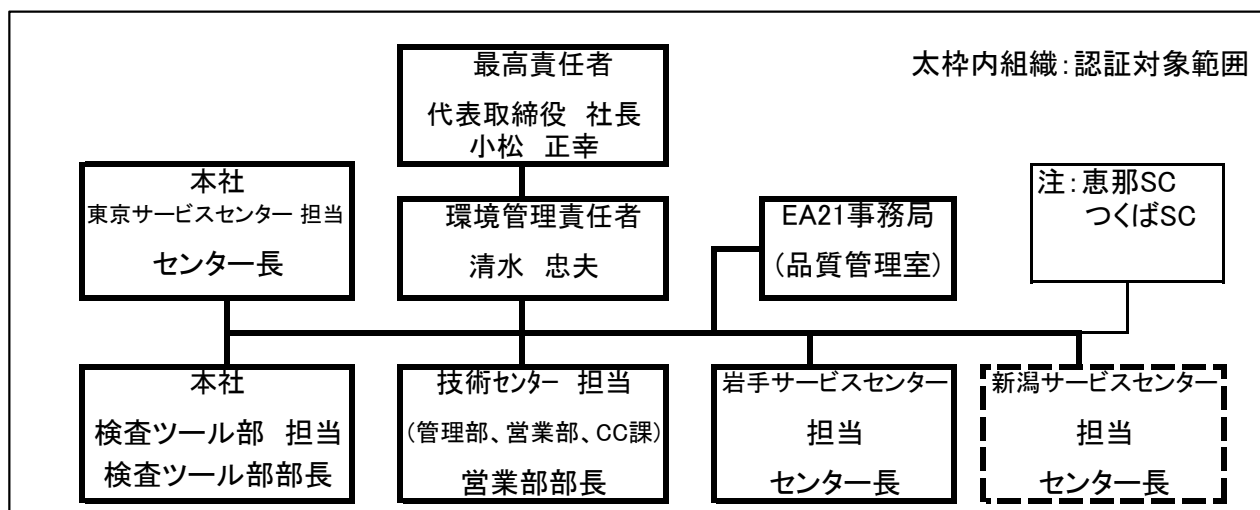
1-9. 事業の内容

プリント基板検査サービス（検査データ作成及び治具作製を含む）
及び検査設備販売保守、ソフトウェアの販売保守

1-10. 事業組織

枠内：認証・登録対象組織	2024年度（2024/1/5 現在）
本社・東京サービスセンター	14名
技術センター	9名
岩手サービスセンター	5名
	（計 28名）
恵那サービスセンター	14名
つくばサービスセンター	5名

2. EA21環境経営組織図



注: ・恵那サービスセンターは、RITAエレクトロニクス(株)様内での検査業務の為、RITAエレクトロニクス(株)様 ISO14001管理基準での活動。(14名)
 ・つくばサービスセンターは、リンクステック(株)様石岡工場内での検査業務の為、リンクステック(株)石岡工場様ISO14001管理基準での活動。(5名)

新潟サービスセンターは2023年7月末を以って閉鎖、業務は東京サービスセンターへ移管

2-1 役割責任及び権限

職名	役割 及び 権限
最高責任者	1. 環境経営方針の制定、誓約及び従業員への周知 2. 環境管理責任者及び、必要な責任者を任命する。 該当責任者には、現在の職責に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 3. EA21の構築・運用・維持に必要な環境経営資源 (人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む)の確保 4. 是正・予防処置発生時のフォロー、及び指示 5. 全体の取組状況の評価と見直しを行い、必要に応じ改定を指示する
環境管理責任者	1. EA21活動全般の施策・運用 2. EA21の実施記録を経営者に報告 3. 各種環境関連文書の記録の管理 4. 環境関連法規の遵守に関する教育 5. 環境経営レポートの作成、公表
部門責任者	1. 環境経営目標に即した自部門の環境経営計画の策定・実施 2. 自部門の環境経営計画の実施状況を環境管理責任者に報告 3. 自部門の一般社員に対する環境教育の実施
全社員	1. 環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚する 2. 決定事項を周知徹底し、積極的に環境活動へ参加する 3. 担当項目以外の環境保全活動への協力 4. 環境関連法規に関する知識習得及びその遵守 5. 活動を通じての部門責任者、環境管理責任者への提案 6. 各家庭における環境教育の実施

3 環境理念

ガーディアンジャパン株式会社は、社会生活の利便性を向上させる電子機器の一翼を担うプリント配線基板業界への製造設備・治工具の販売、検査サービスの提供を通じ、自然・生命・社会と共存できる環境調和の企業活動を推進し、環境の保全と環境経営の継続的な向上を図るよう行動いたします。

4 環境経営方針

行動指針

1. 環境負荷の低減を継続的に行い、環境汚染の防止に努めます。
2. 事業活動に関連する諸法令を遵守するとともに、高い職業倫理観をもって環境に配慮した事業活動を行います。
3. 本方針は、組織に関わる全員に周知徹底いたします。
4. 経営における課題とチャンスを踏まえた目標設定に努めます。

取り組み

- ・省エネルギーの推進。
- ・リサイクルの促進により、廃棄物の低減と適正処理に努めます。
- ・ペーパーレスの推進。
- ・環境に配慮した資材・製品の購入、使用を促進する。
- ・化学物質の管理に関する要求には充分取り組む。(SDS等)

制定日： 2010年10月21日
確認日： 2024年 2月 15日
代表取締役 社長
小松 正幸

5. 環境経営目標

2019～2022年度までの実績を踏まえ、2023～2026年度の中期目標値を示します。

- ※ 基準値(B M)は、前期：2019年～2022年度がコロナ渦を含む期間で有った事から期間中の実績を基に平均値を基準値として策定しました。
- ※ 基準値(B M)の購入電力は実排出係数(調整前)とし、東京電力エナジーパートナーと東北電力の使用量に基づく2022年度平均値 0.4686kg-CO2/kWh を2026年度まで用いる。ガソリンの排出係数は、2.32kg-CO2/L とする。
- ※ 軽油は、2022年3月廃車に伴い新基準に含めず。
- ※ 2023年より追加：水使用量は、上水使用量がそのまま下水道へ排水されるものとして対応します。今中期は目標を定めず監視対象とする。

EA21コア指標	環境経営方針		中長期の環境経営目標 (2026年まで)	2022年 B M	2023年 目 標	2024年 目 標	2025年 目 標	2026年 目 標
エネルギーの消費	地球温暖化の防止 (省エネ推進)	電気使用量の現状維持 (kwh/年)	電力の消費総量は2010年基準：58.2万Kwhから2022年度までに-38%と大幅な達成が出来たため、新たな基準値を設定し2026年度までに約5%の削減を目指し継続、維持する。	35.60万 Kwh	35.05万 Kwh	34.71万 Kwh	34.27万 Kwh	33.82万 Kwh
		年度目標 % 基準比		100	98.75	97.5	96.25	95
化石燃料等の燃焼		ガソリン消費量の現状維持 (L/年)	ガソリンの消費総量は2010年基準：6,724Lは2022年度までに-69%と大幅な達成が出来たため、新たな基準値を設定し2026年度までに約5%の削減を目指す。	2,320L	2,291L	2,262L	2,233L	2,204L
		年度目標 % 基準比		100	98.75	97.5	96.25	95
総排水量(水使用量)	上水の節水推進	水使用量削減(排水量削減) (m ³ /年)	・主な水使用量は、生活用水である為、目標値を定めず現状維持で節水に務める。 ・節水ステッカーの貼付け ・手洗節水の徹底 ・水漏れ点検	389m ³	389m ³	389m ³	389m ³	389m ³
		年度目標 % 基準比		100	100	100	100	100
産業廃棄物の排出	産業廃棄物処分場の負荷低減	産業廃棄物の排出量の現状維持(t/年)	産業廃棄物は2010年基準：8tで有ったが2015年度より25%減の6tを維持。今後も6tの排出量を維持する。	6t	6t	6t	6t	6t
紙の消費	ペーパーレスの推進	コピー用紙使用量の現状維持(枚/年)	紙の使用総量は2010年：9.75万→2022年：5.50万枚(2010年比で-44%減)更に減少を目指す。	52,000枚	51,500枚	51,000枚	50,500枚	50,000枚
		年度目標 % 基準比		100	99	98	97	96
二酸化炭素削減目標 (単位 kg-CO2)			2010年度 335,919 ⇒ 2022年度実績 174,005	172,204	169,557	167,897	165,767	163,591
			5%削減～現状維持	100	98.75	97.5	96.25	95
■各拠点に於いて、ISO9001と連動し、すべての検査用設備に関して、日々点検を行う。					2023年、実施されていた。 (On Track にて確認)			
■フロン排出抑制法に伴う空調機の簡易点検(四半期に1回以上、年4回以上実施)					2023年は、 4月、6月、9月、12月 実施			

- ※PRTR 法制度対象化学物質の使用は無いため、目標設定は行いませんが、使用されていないか監視する。
- ※今期は中期計画4か年の1年目として活動を実施しております。

7 環境経営目標の実績

2023 年度 ガーディアンジャパン株式会社 環境経営の実績(本社・技術・新潟・岩手)

特定した環境負荷	二酸化炭素量(負荷の自己チェックシートから)						
環境方針	地球温暖化の防止のため環境負荷を低減させる(省エネルギーの推進)						
環境目標	電力使用量・燃料使用量による二酸化炭素の削減						
		電力CO2		ガソリンCO2			CO2排出量合計
	基準年度比(%)	kWh	kg-CO2	L	kg-CO2		kg-CO2
EA21取組開始基準 2010	---	582,378	303,584	6,724.0	15,600		319,184
基準年度	2022	100.00%	356,000	166,822	2,320.0		172,204
	2023	97.50%	350,500	164,244	2,290.0		169,557
目標	2024	95.00%	347,100	162,651	2,261.0		167,897
	2025	92.50%	342,700	160,589	2,232.0		165,767
	2026	90.00%	338,200	158,481	2,203.0		163,591
CO2換算係数(注)		0.4686 Kg-CO2/kWh		2.32 kg-CO2/l			

■2010年度 CO2換算係数 ; 0.521 Kg-CO2

■2023 ~ 2026年度排出係数は0.4686 kg-CO2/kWhとする

■基準年度用CO2換算係数 ; 東京電力EP: 0.457 東北電力: 0.496

排出係数 ガソリン 2.32 kg-CO2/l
排出係数 軽油 kg-CO2/l

(注):東京電力エナジーパートナー、東北電力 使用量に基づく平均

目標		スケジュール													
		2023年													
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
活動目標 (達成手段)	(取組の自己チェックシートから)														
電力の節約	・社員への電気節約の周知	<											>		
	・クールビズ・ウォームビズ運動	<											>		
	・冷房温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	<											>		
	・不使用エリアや共通部の照明開引き・消灯	<											>		
	・パソコン、プリンタの未使用時の電源オフ	<											>		
ガソリンの節約	・社員へのガソリン節約の周知	<											>		
	・エコドライブの推進(タイヤ空気圧の確認)	<											>		
	・エコドライブの推進(燃料・走行距離記録)	<											>		
産廃の削減	・暖気運転・アイドリングの最少化	<											>		
用紙の節約	・歩留まり向上	<											>		
水消費削減	・ペーパーレスの推進	<											>		
設備保守	・両面コピーの推進	<											>		
	・節水をいつも意識する	<											>		
	・すべての検査設備の日々点検を行う	<											>		
パフォーマンス目標1	基準年(2022年度)	電力	月別 (kWh)	30,323	31,718	28,749	28,202	24,757	30,640	33,347	35,795	32,027	28,819	25,601	26,015
		ガソリン	月別 (L)	157	247	214	224	143	127	190	132	163	241	251	230
		CO2	月別 (kg-CO2)	14,586	15,450	13,979	13,709	11,969	14,629	16,090	17,120	15,360	14,048	12,525	12,740
		累計 (kg-CO2)	14,586	30,036	44,015	57,723	69,692	84,321	100,411	117,531	132,891	146,939	159,464	172,204	
	目標値(2023年度)	電力	月別 (kWh)	29,208	29,208	29,208	29,208	29,208	29,208	29,208	29,208	29,208	29,208	29,208	29,208
		ガソリン	月別 (L)	191	191	191	191	191	191	191	191	191	191	191	191
		CO2	月別 (kg-CO2)	14,130	14,130	14,130	14,130	14,130	14,130	14,130	14,130	14,130	14,130	14,130	14,130
		累計 (kg-CO2)	14,130	28,260	42,390	56,519	70,649	84,779	98,908	113,038	127,168	141,298	155,427	169,557	
	実績値(2023年度)	電力	月別 (kWh)	28,236	32,762	25,825	21,417	19,749	23,171	24,907	26,900	25,929	19,608	17,374	16,889
		ガソリン	月別 (L)	138	218	169	155	153	230	216	124	171	157	247	212
	CO2	月別 (kg-CO2)	13,551	15,857	12,494	10,394	9,609	11,393	12,173	12,893	12,548	9,553	8,714	8,407	
	累計 (kg-CO2)	13,551	29,408	41,902	52,297	61,905	73,298	85,471	98,364	110,912	120,465	129,179	137,586		

パフォーマンス目標2	基準年(2022年度)	産廃排出量	月別 (t)	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0
	目標値(2023年度)	産廃排出量	月別 (t)	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0
		累計 (t)	0	0	2	2	2	2	4	4	4	4	6	6.0	
	実績値(2023年度)	産廃排出量	月別 (t)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	1.5	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	
		累計 (t)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	4.0	4.0	4.0	4.0	9.0	9.0		
	基準年(2022年度)	コピー用紙使用量	月別 (枚)	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	4,350	4,330	4,350
	目標値(2023年度)	コピー用紙使用量	月別 (枚)	4,293	4,290	4,290	4,293	4,293	4,291	4,291	4,290	4,293	4,293	4,290	4,293
		累計 (枚)	4,293	8,583	12,873	17,166	21,459	25,750	30,041	34,331	38,624	42,917	47,207	51,500	
	実績値(2023年度)	コピー用紙使用量	月別 (枚)	2,500	0	5,000	10,000	0	0	0	0	10,000	0	0	5,000
		累計 (枚)	2,500	2,500	7,500	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	27,500	27,500	32,500	
基準年(2022年度)	水使用の監視	月別 (m³)	33	33	33	32	32	32	32	33	32	32	32	33	
目標値(2023年度)	水使用の監視	月別 (m³)	33	33	33	32	32	32	32	33	32	32	32	33	
	累計 (m³)	33	66	99	131	163	195	227	260	292	324	356	389		
実績値(2023年度)	水使用の監視	月別 (m³)	1	71	1	72	1	66	7	50	0	44	0		
	累計 (m³)	1	72	73	145	146	212	219	269	269	313	314	360		

CO2削減 実績評価	電力	-19.32 %	2023年度は、B M 350,500kwhに対し実績値282,767kwhで、-19.32%の達成と成った。	○
	ガソリン	-4.35 %	2023年度は、B M 2,290Lに対して実績値2,190Lで、-4.35%の達成になった。	○
	CO2	-18.86 %	2023年度は、B M 169,557kg-CO2に対して実績値137,586kg-CO2で、-18.86%の達成になった。	○
廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量	50.67 %	2023年度は、B M 6t に対して実績値 9tで、約 50%の増加と成った。	X
	コピー用紙の削減	-36.89 %	2023年度は、B M 51,500枚 に対して実績値 32,500枚 で、-36.89%の達成になった。	○
総排水量 監視	水道使用量	-7.46 %	2023年度は、B M 389L に対し実績値 360L で、約-7.5%の削減で有った。	---

管理者総合評価(環境活動レポートへ転記)

2023年は、基板の市場環境が悪化(コロナ禍の在庫積み増しとその後の需要低迷)した事により器具販売、検査サービス共に減少した事と、現状、先行き不透明な新潟SCを開鎖するに至った事が、目標値のクリア要因で有る。産廃排出量は新潟からの設備移設に伴い老朽設備を廃棄した事で一時的に増加する事と成った。

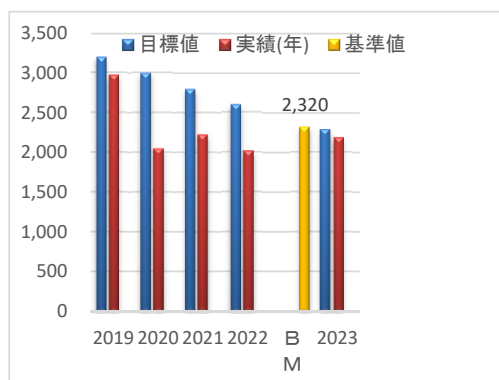
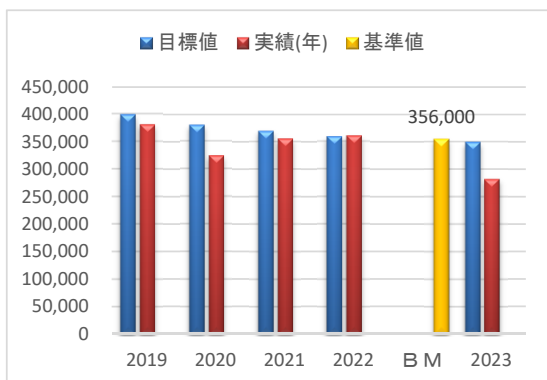
累積値	目標値(2023年度)	電力	月別 (kWh)	29,208	58,417	87,625	116,833	146,042	175,250	204,458	233,667	262,875	292,083	321,292	350,500
		ガソリン	月別 (L)	191	382	573	763	954	1,145	1,336	1,527	1,718	1,908	2,099	2,290
	実績値(2023年度)	電力	月別 (kWh)	28,236	60,998	86,823	108,240	127,989	151,160	176,067	202,967	228,896	248,504	265,878	282,767
		ガソリン	月別 (L)	138	356	525	679	832	1,062	1,278	1,402	1,574	1,731	1,978	2,190
		2023年度 電力CO2排出量 (kg-CO2)	13,231	15,352	12,102	10,036	9,254	10,858	11,671	12,605	12,150	9,188	8,141	7,914	
		2023年度 電力CO2排出量 (kg-CO2) 合計:	132,505												
		2023年度 ガソリンCO2排出量 (kg-CO2) 合計:	5,082												
		2023年度 CO2排出量 (kg-CO2) 総合計:	137,586												

8 環境経営計画の取組み結果(2023.1~2023.12の12ヶ月)

8-1 地球温暖化防止の観点から「省エネ推進」を掲げた、電気使用量は2022年度は2010年比で約**38%**の削減結果と成った事で、新たな中期活動計画のB M(基準値)を設定した。同じく、地球温暖化防止の観点から「化石燃料の使用抑制」を掲げた、ガソリン使用量は2010年比で2022年度は約**70%**削減となり新たな中期活動計画のB M(基準値)を設定した。2023年度実績は今期目標に対して以下の結果と成りました。

電気使用量(Kwh) ↓ -19.32% (対目標値)

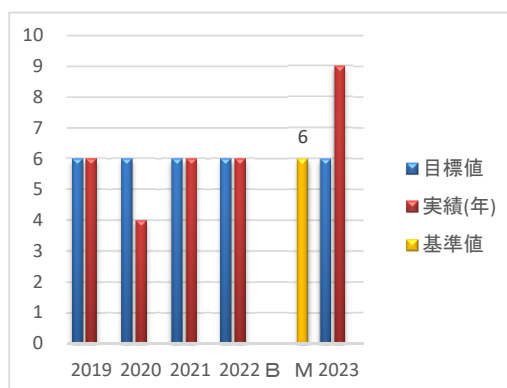
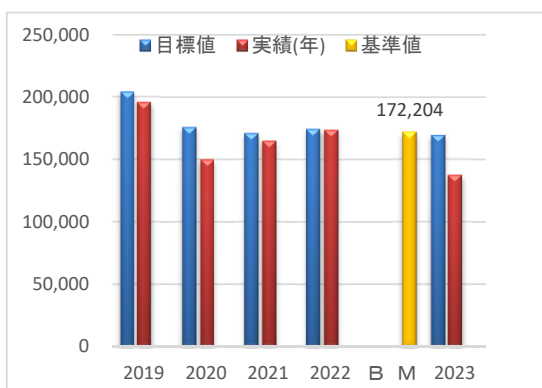
化石燃料(L) ↓ -4.35% (対目標値)



8-2 「省エネ推進による電気使用量減」と「化石燃料の使用抑制によるガソリン使用量減」の効果で合わせた2023年度の二酸化炭素排出量(CO2)は、**対目標値では-18.86%の減少**になった。

二酸化炭素排出量(CO2) ↓ -18.86% (対目標値)

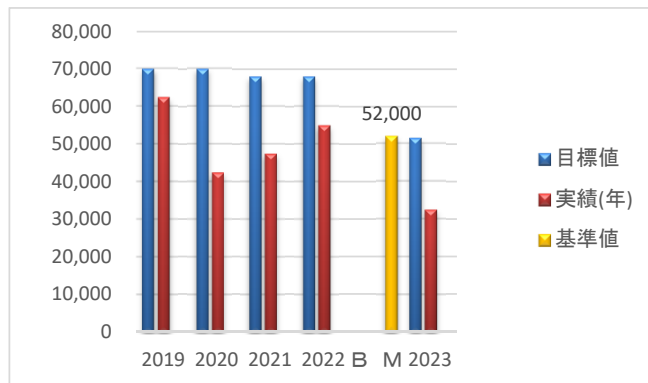
産業廃棄物(t) ↑ +50% (対目標値)



8-3 産業廃棄物は、**対目標値+50%増**の排出量と成った。お客様からの治具解体や、長期に保存していたパシ板の処分依頼が増えた事で板材の廃棄物が増えたが、治具販売受注が減った事で廃材は昨年と同じで有った。しかし、新潟SCからの東京SCへの設備移設に伴い老朽設備の廃棄等が発生し目標値6tが9t(+50%)と増えた事で、目標達成出来ませんでした。※老朽設備を廃棄する際に鉄、アルミ、電子部品等に解体する事で、リサイクル素材として引取出る可能性が有るとのアドバイスを頂いた、今後、設備廃棄の際に活かして行きたい。

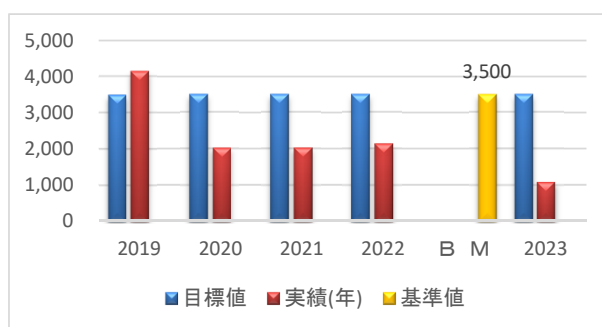
- 8-4 紙の使用総量は2010年比で2022年は-43.6%で、新たな中期活動計画のB M(基準値)を設定した。紙使用量は受注量に比例して増える傾向に有るが、2023年度は受注低迷と新潟SC閉鎖で目標値より大幅に少ない、32,500枚で目標比 -36.89%の達成と成りました。

紙使用総量(枚) ↓ -36.89%(対目標値)



- 8-5 プラスチック廃材は、リサイクルの推進継続により、取組み当時より減り2,000㎡程度を継続して維持しています。2023年度は治具受注が落ち込んだ事で、前年比 -49%と成りました。

プラスチック廃材(㎡)



- 8-6 設備保守：検査装置は日々、月次、年次保守を実施しており長期に停止する事態は発生せず。コロナ渦は過ぎたが一部の保守用パーツは未だに入手に時間を要する状況が有り、財政面で機器リプレースも俟たず、重要な保守パーツの確保が課題と成る。

8-7 次年度の取り組み内容

現在の環境目標の更なる達成を目指して、継続して取り組みます。

- ① 2023年度は、基板製造がコロナ渦の積み増し受注の一腹と在庫過多が要因で当社の主力事業の検査サービス、治具販売共に大幅に減少する事と成った。また、先行き不透明な新潟SCを閉鎖した事で削減目標達成される事と成った。今後の受注量との兼ね合いになりますが、必要以上の増加にならなように啓蒙していきます。また、ガソリン使用量はエコカー導入で年々減少しているが、出張に公共交通機関を利用する等で更なる削減に繋がる様に取り組む。
- ② 今期の産業廃棄物は老朽設備を廃棄した事で一時的に増加する事と成りました。産業廃棄物は受注動向に左右され治具受注が増えれば廃材も増える傾向に有るが、これ迄と同じ年間6tの排出量を目標に取り組む。
- ③ コピー用紙の使用量は、既に紙媒体から電子化を実施して削減出来ている部署も在るが、検査サービスなど受注量が増える事で顧客への提出書類が増え、結果として増加する。時代の流れに則り、電子化された書類に切替を出来るかに掛かって来る。
- ④ 水使用(排水)量は来期も目標を定めず監視項目とする。

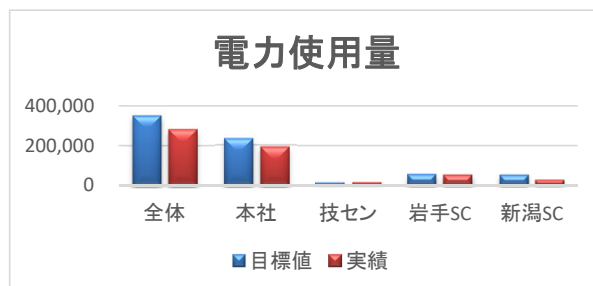
9 環境経営計画の取組み部署別結果(2023.1~2023.12の12ヶ月)

達成状況の判定 : 達成率100% 😊 : 100 > 達成率 ≤ 90 😊 : 達成率 < 90 😞

達成率: 目標値 / 実績値 × 100

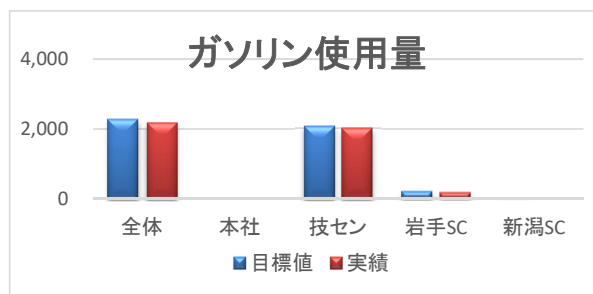
10-1 電力使用量 (kWh)

拠点	目標値	実績	達成率 %	評価
全体	350,500	282,767	124	😊
本社	233,698	193,272	121	😊
技セン	12,602	13,152	96	😊
岩手SC	53,477	50,570	106	😊
新潟SC	50,722	25,773	197	😊



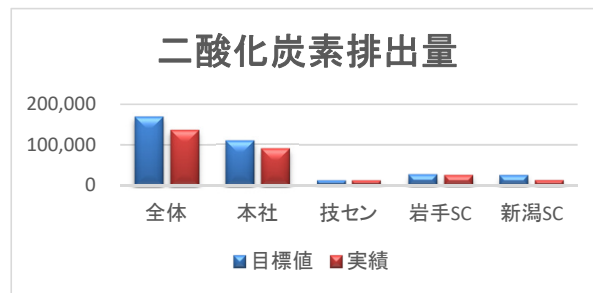
10-2 ガソリン使用量 (L)

拠点	目標値	実績	達成率 %	評価
全体	2,290	2,190	105	😊
本社	0	0	0	🚫
技セン	2,068	2,012	103	😊
岩手SC	211	179	118	😊
新潟SC	11	0	0	🚫



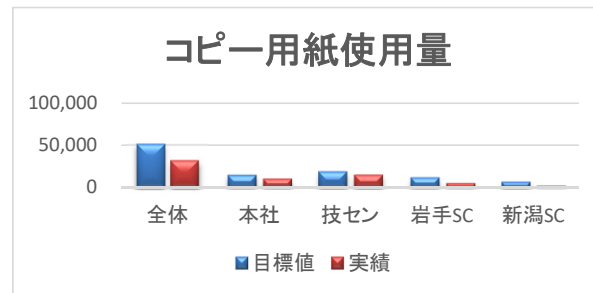
10-3 二酸化炭素排出量 (kg-CO2)

拠点	目標値	実績	達成率 %	評価
全体	169,557	137,586	123	😊
本社	109,510	90,567	121	😊
技セン	10,704	10,830	99	😊
岩手SC	25,549	24,112	106	😊
新潟SC	23,794	12,077	197	😊



10-4 コピー用紙使用量 (枚)

拠点	目標値	実績	達成率 %	評価
全体	51,500	32,500	158	😊
本社	14,045	10,000	140	😊
技セン	18,727	15,000	125	😊
岩手SC	11,705	5,000	234	😊
新潟SC	7,023	2,500	281	😊



10 環境関連法規等への違反・訴訟などの有無

「環境関連法規制等管理表(遵守評価記録)」による自己チェック結果

当社が該当する、「産業廃棄物処理法」、「化学物質管理法」、「自動車No/xP法」、「フロン排出抑制法」、「容器包装リサイクル法」、「家電リサイクル法」、「グリーン購入法」までの7法令の要求事項に関して、2024年2月27日にエコアクション21事務局(品質管理室内)によりチェックを実施した結果、抵触する事項は0件であり、早急な改善を要する事項も0件でありました。

また、緊急事態の発生も今年度は0件でありました。

2023年度の「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の3第6項の規に基づき、東京都知事宛に4月以降に提出します。

外部の関連機関等からの、各種環境関連法規制等に抵触する旨の指摘及び訴訟は過去3年間1件もありません。

11 代表者による全体評価と見直しの結果

□ 全体評価

EA21の活動も、初年度の認証より12年が経過します。社員一丸となり、環境活動に対して取組めた事で化石燃料・CO2排出量・コピー用紙使用量の削減は出来ていると感じています。
長らく2010年を基準値にして活動していたが、今期から新たな中期環境経営目標を設定した。
今期は、基板製造がコロナ渦の積み増し受注の一腹と在庫過多が要因で過去最大の受注落込みと成り、早急な経営見直しにより新潟SCを7月末で閉鎖しました。【受注減】と【事業所閉鎖】により「電気使用量削減」「燃料使用量削減」「コピー用紙削減」については目標は達成出来たが、「産業廃棄物排出量」は新潟SC閉鎖に伴う東京SCへの設備移設で老朽設備の廃棄を行い一時的に増加する事と成りました。次年度も受注環境は引き続き非常に厳しい状況が予想されておりますが、受注回復期には電力使用量等の増加が見込まれ、新潟SC閉鎖分を経営目標にそのまま反映する事は時期尚早と思われる事から、次年度以降の数値変動について適正に把握し適切な目標設定を検討していく必要があるかと考えます。

設備の老朽化、従業員の高齢化、人員不足に関し、昨年も危惧していたが、適切な解決策が見つからず、苦慮している。現在の人数では、事業回復期に個々の負担が大きくなり、また、老朽設備を使い続ける事で納期遅延なども想定される。ただ業界の先細り感も有り、高性能の設備を導入しても受注単価が下落しており採算が取れない。技術を売りに得意先へ単価改定をお願いしたい処では有るが、他社との競争も有り、簡単ではないのが現状である。

□ 目標別評価

- ガソリン使用量は、社用車に低燃費車を導入した事で排出削減を図って来たが、目標達成が難しく成って来ている。コロナ渦で制限されていた車での顧客訪問が回復した事でガソリン使用量は昨年費+10%、目標値より-4.35%の削減となった。営業による遠出の顧客訪問は公共交通機関の利用などを昨年に引き続き行った事が削減の要因で有ろう。
 - リース(HV)車1台は2022年12月に車種入替を行ったが今期は営業、修理等の活動が戻った為にガソリン消費は増える事に成りました。エコドライブなど運転方法への配慮も必要かと
 - 活動の状況次第で増加すると見込まれる為、売上に連動する様な目標値の設定が必要と思われるが来期目標は継続とする。
- 電力使用量は、受注状況により左右され、現段階では永遠の課題と成るが、設備の老朽更新や空調の設定温度などを徹底し継続して行きましょう。
※空調機器と照明器具が主な技術センターは、コロナ渦明けで電力使用量が増加しました、室内温度の管理と共にクールビズ、ウオームビズの徹底や不要な電気の消灯徹底への取組が必要です。
- 産業廃棄物は、受注が低迷した事で当て板等の廃棄は減少したが、顧客預かりの板材廃棄が発生した事と新潟SC閉鎖で設備入替に伴う老朽設備の廃棄が発生した事が要因で排出量が一時的に増え目標を達成出来なかった。今後も受注に絡み廃棄量は増減するが、目標値6t/年を維持出来る様に取り組んで行きましょう。
- 今期、環境関連法規及びその他の環境関連要求事項に対する違反等は無かった。今後とも該当する環境関連法規及びその他の環境関連要求事項を遵守しましょう。
- 環境活動の重要性の理解
今期、会社としてSDGsへの取組を6月に掲げた。ISO9001やEA21で取組んでいる面も有るが割りばしや買い物時のポリ袋を未だに使用している者も居る事からCO2削減意識の徹底に務めて行く必要性が有る。
EA21導入の意義浸透の為、教育訓練を実施してください。

□ 指示事項

今年度の目標は概ね達成されていますが、当社の環境目標に関わる各種数値は、受注動向により結果が左右される部分があり、コロナ渦脱出による負荷増が今後も予測され、達成率の緩和も検討を要する。連続的な改善を続け二酸化炭素排出量の削減を維持しながら売上の上昇を期待する。
また、持続可能な社会に貢献する為に、社員一人ひとりがSDGsの目標推進と二酸化炭素排出量の削減等の達成に向けて行動してください。
従業員の皆様も、意見や提案があれば、活動内容に織り込んでいきます。

**現状に満足せず、更なる見直しも含め全従業員が一丸となり
エコアクション21に取り組んでいきましょう！**

次年度以降の活動等の見直し		
1. 環境経営方針の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
2. 環境経営目標の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
3. 環境経営計画の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4. その他変更の必要な項目等	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無

2024(令和6)年 3月 5日
ガーディアンジャパン(株)
代表取締役 小松 正幸